

東京都立葛西工業高等学校 令和4年度 教科：保健体育 科目：保健 年間授業計画

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1単位
 対象学年組：第2学年1組～5組
 教科担当者：寺田 信之介（1～5組）
 使用教科書：新高等保健体育
 使用教材：教科書、ノート、プリント等

	指導内容	科目：保健の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
1 学期	<p>【保健編】</p> <p>1. 思春期と健康</p> <p>2. 性への関心・欲求と性行動</p> <p>3. 妊娠・出産と健康</p> <p>4. 避妊法と人工妊娠中絶</p> <p>5. 結婚生活と健康</p> <p>6. 中高年期と健康</p> <p>【体育編】</p> <p>1. スポーツの技術と技能</p> <p>2. 技能の上達過程と練習</p> <p>3. 技能と体力</p>	<p>【保健編】</p> <p>1. 思春期の体の変化・心の健康課題について理解し説明できる。</p> <p>2. 性意識の男女差について理解し、性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげることができる。</p> <p>3. 妊娠・出産の過程における健康課題について理解し、母子健康サービスの例もあげることができる。</p> <p>4. 家族計画の意義と適切な避妊法、人工中絶について説明できる。</p> <p>5. 結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができる。</p> <p>6. 年をとることにもなう心身の変化や中高年期を健やかに過ごすための社会的な取り組みについて理解できる。</p> <p>【体育編】</p> <p>1. 技術と技能の違い、クローズドスキルとオープンスキルの違いを説明できる。</p> <p>2. 練習を通じて技能がどのようなステップを経て上達し、どんな特徴がみられるかを説明できる。</p> <p>3. 技能や体力の関係について説明できる。</p>	<p>○出席状況、授業態度、忘れ物、ノート提出、定期テスト、プリント教材の取り組み状況</p>	12 ～ 13
2 学期	<p>【保健編】</p> <p>7. 医薬品とその活用</p> <p>8. 医療サービスとその活用</p> <p>9. 保険サービスとその活用</p> <p>10. さまざまな保健活動や対策</p> <p>11. 大気汚染と健康</p> <p>12. 水質汚濁、土壌汚染と健康</p> <p>13. 環境汚染を防ぐ取り組み</p> <p>14. ごみの処理と上下水道の整備</p> <p>【体育編】</p> <p>4. 体力トレーニング</p> <p>5. 運動・スポーツにおける安全の確保</p>	<p>【保健編】</p> <p>7. 医薬品の正しい使用方法について理解し、安全性を守る取り組みについても説明できる。</p> <p>8. 医療機関の役割について理解し、医療サービスを受けとる際の留意点をあげることができる。</p> <p>9. 保健行政の役割について例をあげて説明でき、保健サービスの活用例もあげることができる。</p> <p>10. 民間機関・国際機関などの保健活動や対策について例をあげて説明できる。</p> <p>11. 大気汚染について理解し、環境問題について例をあげて説明できる。</p> <p>12. 水質汚濁・土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる。</p> <p>13. こんにちの環境汚染について理解し、防止するための取り組みについて説明できる。</p> <p>14. ごみの処理現状を理解し、安全で質のよい水を確保するためのしくみと、課題を説明できる。</p> <p>【体育編】</p> <p>4. 目的に応じたトレーニング方法を説明することができる。</p> <p>5. 運動・スポーツ活動中における危険をあげることができる。</p>	<p>○出席状況、授業態度、忘れ物、ノート提出、定期テスト、プリント教材の取り組み状況</p>	14 ～ 15
3 学期	<p>【保健編】</p> <p>15. 食品の安全を守る活動</p> <p>16. 働くことと健康</p> <p>17. 働く人の健康づくり</p> <p>【体育編】</p> <p>6. 生涯スポーツの見方・考え方</p> <p>7. ライフスポーツに応じたスポーツ</p> <p>8. 日本のスポーツ振興</p> <p>9. スポーツと環境</p>	<p>【保健編】</p> <p>15. 食品の安全のため、私たち消費者がおこなうべきことを説明できる。</p> <p>16. 働く人の健康問題が、どのように変化してきたかについて理解し、労働災害の防ぎ方について説明できる。</p> <p>17. 職場がおこなう健康増進対策について理解し、余暇の大切さと活用の仕方について説明できる。</p> <p>【体育編】</p> <p>6. 各ライフステージに広がるスポーツ活動の特徴をあげることができる。</p> <p>7. 自分にあったスポーツライフを設計することができる。</p> <p>8. 国や自治体がおこなっているスポーツ振興の施策をあげることができる。</p> <p>9. スポーツ参加者が増えると環境にどんな影響があるかをあげることができる。</p>	<p>○出席状況、授業態度、忘れ物、ノート提出、定期テスト、プリント教材の取り組み状況</p>	7 ～ 8